

私立短期大学図書館協議会

会報

Bulletin of Junior College Library Association

編集者：菅原春雄
 発行者：鈴木英二
 発行所：私立短期大学図書館協議会
 〒181 東京都三鷹市牟礼4-3-1
 東京女子大学短期大学図書館内
 電話（0422-45-4145 内234）

1986. 7. No 19

昭和61年度総・大会

— 東京出版販売本社ホールで開催 —

日時 昭和61年5月30日（金）1～5時

会場 東京出版販売本社8階ホール

出席 56館 63名 委任状133名 計196名

概要：吉岡（相模女子短大）氏の司会により、定刻1時より開会された。まず会長鈴木英二氏（千葉経済短大図書館長）のあいさつ、短大図書館はこの数年問題を抱えながらも着実に発展していることは喜ばしいことである。しかしながら昨年度仙台で開催された図書館大会短大分科会における質疑からも見られるように、今後見直すべき課題もある。今年は東京でIFLA大会が開催されるので、せっかくの機会であるので参加してもらいたいと述べられた。

議長選出 木村一夫氏（大垣女子短大図書館）

記録 菅原春雄（文教大女子短大）
 宮澤人美（女子聖学院短大）

議事1）昭和60年度会勢及び事業報告（渡辺理事）

○会勢（昭和61年3月31日現在）

北海道地区 17(1)

東北地区 13(0)

関東地区 82(1)

東海北陸地区 32(1)

近畿地区 58(3)

中・四国地区 23(0)

九州地区 28(0)

合計 253(6) 注（内は昭和60年度増加分）

○事業全般報告

1. 昭和60年度総大会，会報17号2P参照
 昭和60年5月31日 東京出版販売本社
 研修会：「出版物の流通と出版情報システム」
2. 会報は，17，18の2回発行

3. 昭和60年度私立短期大学図書館館員名簿刊行
4. 地区協議会（7地区）への助成活動実施
5. IFLA等への協力活動実施
6. 短期大学図書館研究No.6の刊行
7. 全国理事会1回（60.5.30）本部役員会通算6回
 注）今年で発足して9年になる。来年は創立10周年になる。そこで発足以来の主な活動をひろって見ると

◇出版活動

- 会報No.1～18の刊行と加盟館への無料配布
- 短期大学図書館No.1～6の刊行と加盟館への無料配布
- 私立短期大学図書館 館員名簿の刊行と加盟館への無料配布
- 私立短期大学図書館総員の刊行と加盟館への無料配布
- 同上 ～集計・分析編～の刊行と加盟館への無料配布

- 「図書館員になるには」の刊行と加盟館への割引価格頒布
- 「日本十進分類法新訂7版-8版比較表」の刊行と加盟館への割引価格頒布
- 「資料組織化の実践」の刊行と加盟館への割引価格頒布

◇研修会

短期大学図書館全国研修会の開催
 昭和57年度～59年度まで3回，テーマは「マイコンによる図書館業務処理」使用機械コンピュータ延200台，東京，大阪会場参加者延600名

◇その他

- 地区協議会活動への支援

- 年度総・大会の開催
- 図書館関係団体との協力活動

会報（菅原理事）

会報昨年度は17・18の2回刊行した。
17号には故林勇一先生の追悼号を特集した。

短期大学図書館研究第6号（網本理事）

6号はとくに機械化を特集して刊行した。

I F L A（会長）

I F L A 東京大会が今年8月24日～29日まで青山学院大学を主会場として開催される。

議事2）昭和60年度決算報告（渡辺理事） 別紙 3P

議事3）昭和60年度会計監査報告（宮島監査）

質疑に入ったが、会場より決算において予算計上の仕方についてあったが、今後充分検討し実行予算にそって行きたいとの答弁、原案通り承認。（議案1.2.3）

議事4）昭和61年度事業計画及び予算案について

渡辺理事別紙3P予算案を基に事業計画案が提案された。

事業計画

1. 総・大会開催
昭和61年5月30日 東京出版販売本社
研修会「出版情報サービスと図書館の資料組織化
—MARCを中心に—
2. 第4回短期大学図書館全国研修会の開催
期 日 未 定
会 場
参加者 7,000.-
テーマ 「書誌活動」
3. 会報年2回（19号 20号刊行予定）
4. 短期大学図書館館員名簿61年度版 発行予定
5. 短期大学図書館研究第7号発行予定
6. 地区助成活動
7. I F L A への協力
8. 他機関との協力活動

また出版助成として①日本十進分類法新訂7版8版比較表の改訂版発行に ②英文学、言語学関係書誌作成化の2つに助成する。このような事業計画に伴う予算案も同時に提案された。 承認。

会場から、予算執行に伴う資金繰りの件提案あり、会

員校はできるだけ早く地区協議会理事校へ納入し、本部事務局へ廻してほしいとの議長見解、了承。

議事5）その他 片山理事退任と顧問への推挙について会長より提案、会場満場一致承認 閉会

研修会 「出版情報サービスと図書館の資料組織化」
—MARCを中心に—

期 日 昭和61年5月30日(金) 午後14:30～17:00

会 場 東京出版販売本社8階ホール

参加者 約60名

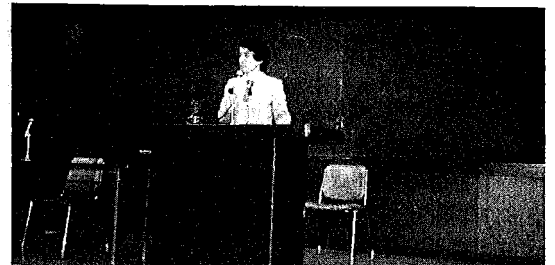
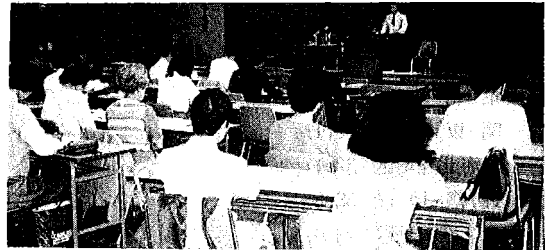
講 演 図書館の資料組織化とMARCの活用

講師 宮本 芳夫氏（図書館流通センター）

今日、図書館の資料組織化を合理的に実施する場合、各種のMARCの活用が必要化されている。今回は主としてTRC—MARCを中心にその活用の仕方について説明された。TRCMARCについてはすでに「大学図書館研究」にも紹介されておるので一読されたい。

各館でTRCMARC採用館210館ぐらいある。その利用法は、本の購入について、また本の購入に関係なく利用するなど様々である。例えばJAPANMARCの適用など、1時間にわたってお話を伺った。

質問では、TRCMARCと学術情報システムの関係は、またTRCMARCの収録点数はどうか等あった。4時から2班に分け1つの班は出版情報システム（TONETS）の概略説明、他の方はコンピュータによる出版情報システムを実際やってそのシステムを理解した。終了5時。



私立短期大学図書館協議会：昭和60年度一般会計決算及び昭和61年度一般会計予算

昭和60年度 一般会計・予算

昭和61年度 一般会計予算

〔収入の部〕

勘定科目	予算	決算	備考
会費収入	2,040,000	2,008,000	@ 8,000×251
雑収入	991	22,496	寄付金&預金利息
前年度繰越金	39,009	39,009	
計	2,080,000	2,069,505	

〔収入の部〕

勘定科目	予算	備考
会費収入	2,096,000	@ 8,000×262
研修会参加費	350,000	
雑収入	3,495	
前年度繰越金	50,505	
合計	2,500,000	

〔支出の部〕

勘定科目	予算	決算	備考
事業費	総大会	60,000	72,885
	研修会	45,000	0
	会場	190,000	190,000
	名簿	200,000	182,000
地区交付金	510,000	502,000	@ 2,000×251
地区助成金	440,000	440,000	@ 60,000×7 20,000
I F L A	40,000	40,000	
会議費	理事会	140,000	154,540
	役員会	140,000	174,865
運営費	交通費	140,000	140,000
	消耗品費	10,000	22,310
	通信費	80,000	60,400
	事務局費	30,000	30,000
雑費	15,000	10,000	
予備費	40,000	0	
小計	2,080,000	2,019,000	
次年度繰越金	-	50,505	
合計	2,080,000	2,069,505	

〔支出の部〕

勘定科目	予算	備考
事業費	総大会	60,000
	研修会	350,000
	会報	210,000
	名簿	200,000
地区交付金	524,000	@ 2,000×262
地区助成金	440,000	
I F L A	40,000	
会議費	理事会	150,000
	役員会	150,000
運営費	交通費	160,000
	消耗品費	20,000
	通信費	80,000
	事務局費	30,000
雑費	15,000	
予備費	71,000	
合計	2,500,000	

昭和60年度 出版事業特別会計・決算

昭和61年度 出版事業特別会計予算

〔収入の部〕

勘定科目	予算	決算	備考
売上収入	400,000	351,473	
広告収入	500,000	659,600	
雑収入	727	0	
前年度繰越金	79,273	79,273	
合計	980,000	1,090,346	

〔収入の部〕

勘定科目	予算	備考
売上収入	500,000	
広告収入	620,000	
雑収入	3,354	
前年度繰越金	76,646	
合計	1,200,000	

〔支出の部〕

勘定科目	予算	決算	備考
発送経費	130,000	96,940	
P R 経費	40,000	39,560	
印刷経費	760,000	827,200	紀要No.6 刊行費
予備費	50,000	50,000	九州地区雑誌目録助成
小計	980,000	1,013,700	
次年度繰越金	-	76,646	
合計	980,000	1,090,346	

〔支出の部〕

勘定科目	予算	備考
発送経費	150,000	
P R 経費	40,000	
印刷経費	840,000	紀要No.7
予備費	170,000	英和ノ北九州
合計	1,200,000	

地区活動報告

— 関東・甲信越地区で書誌研修会開催など —

<北海道地区>

" 昭和61年度北海道地区総合開催 "

5月21日(水)午後2時から約2時間にわたって、道武蔵女子短大で開かれた今年度の総会には、8館から15名が出席しておこなわれた。

議事は、昭和60年度の事業報告ならびに決算・監査報告を承認。ついで今年度の事業計画の大綱と予算案の審議を終え、ついで、事業計画の細部について意見の交換がおこなわれた。

それによれば、講演会・研修会の開催時期については双方とも10月中・下旬ごろを目処に計画をすすめることを確認した。

また、講演内容については、話題のU市立図書館設立の体験談をきく、児童青少年に対するサービス、コンピュータと目録規則の問題点、あるいは図書館史のなかの現代図書館などの意見が出され、多くの問題について関心の高さがみられた。事務局ではこれらの意見を参考にして具体案をたててゆくことになった。

いっぽう研修内容については、加盟館のなかにはすでに図書館業務の一部にコンピュータを導入し、実用化しているところもあることから、実用化の事例発表を中心としておこなうことを決めた。そして、さらに84年6月刊行の「逐刊総合目録」の補遺版または増訂版の刊行についても話し合うことになっている。

" 静修短大図書館の完成近づく "

札幌市の都心から車で約20分、月寒の種羊場に隣接する清田の丘の上にある静修短大では、昨年の初冬から図書館の新築工事がすすめられていたが、きびしい冬期間にもかかわらず予定通り工事がおこなわれ、9月末の完成を間近にして関係者の期待がふくらんでいる。

詳細については本誌次号の「短大図書館めぐり」の欄でご報告することになるが、完成すれば短大としては道内ではもっとも大きな図書館となる。以下にその概要を記しておく。

1. 完成予定日 昭和61年9月30日
2. 開館予定日 昭和61年10月中旬
3. 総面積 7644.72m² (2312.4坪)
4. 主要な施設
 - (1) 図書館 2・3F
 - (2) 食堂喫茶室 2・3F
 - (3) シアターホール BF

(4) 展示ギャラリー 1・4F

(5) A・Vホール 4F

(6) 書庫 <6万冊収容>4F

(R.S.記)

<東北地区>

1. 昭和61年度事業計画

- ① 総会
 - ㊦ 通信によるもの1回
 - ㊧ 研修会と同時に開催するもの
- ② 研修会
 - ㊦ 10月(下旬) 2月(初旬)
- ③ 地区会報・報告書の発行(3回)
- ④ 59・60年度において、下記の事業を予定していましたが、「全国図書館大会東北ブロック(仙台)大会」の開催準備・大会開催のため延期していたものを実施します。

「東北地区私立短期大学図書館所蔵
雑誌・紀要総合目録」の調査・作成
61・62年度 継続事業

以上(中村)

<関東・甲信越地区>

活動報告

A. 幹事会

第5回幹事会(昭和60年度)

昭和61年3月13日

目白学園短期大学図書館

議題: 総会及び見学会、合宿研修会について

(昭和61年度)

第1回幹事会

昭和61年4月24日(11時45~12時30分)

関東学院女子短期大学図書館

議題: 総会及び見学会について

第2回幹事会

昭和61年4月24日(16時30~18時30分)

議題: 合宿研修会について

B. 総会及び見学会

昭和61年4月24日

イ. 総会(出席25館30名 委任状37館)

関東学院女子短期大学図書館 視聴覚教室

議題: 活動報告, 会計報告, 予算案及び活動方針について

ロ. 見学会

1. 関東学院大学図書館 (午前中)
2. 金沢文庫 (総会終了後)

Ｃ. 合宿研修会

期 間：6月21日(土)～22日(日) 1泊2日

場 所：新潟県柏崎市鯨波「蒼海ホテル」

世話役 「新潟短期大学図書館」

参加費：3千円

テーマ：書誌と利用指導

内 容：1. 講演

書誌作成の実際－文化女子大学短期大学部の雑誌記事索引を例にして－

文化女子大学 平井紀子, 佐藤俊子氏

2. 講座

情報の探し方－人名情報探索の基礎－

日本経済短期大学 毛利利弘氏

3. 自由討議①～③

4. 次年度の研修会について (討議)

5. 教養講座 (史跡探訪)

<近畿地区>

<新加盟館紹介>

○浪速短期大学図書館

近畿地区加盟館59館 (61年5月末現在)

<総和61年度総会>

日 時：昭和61年5月17日(土) 14:00～15:00

場 所：帝塚山短期大学図書館

参 加 者：30館51名

理事校挨拶：和田弘名 (帝塚山短期大学図書館長)

議長選出：石本容夫 (平安女学院短期大学図書館)

議 題：

1. 昭和60年度会勢・活動報告
2. 昭和60年度決算報告……承認
3. 同監査報告……
4. 昭和61年度事業計画案……承認
 - (1) 5月17日 総会・第15回研修会
 - (2) 6月－ 雑誌目録改訂版編集
 - (3) 7月上旬 図書館見学
 - (4) 10月上旬 第2回研修会
 - (5) 11月－12月 図書館見学
5. 昭和61年度予算案……承認
6. その他

<昭和61年度役員>

理事校 帝塚山短期大学 (高浜洋一)

幹事校 大谷女子短期大学 (前川和子)

幹事校 神戸山手女子短期大学 (八田義一)

監査校 奈良佐保女学院短期大学 (仲井道子)

(次頁に続く)

<東海・北陸地区>

昭和61年度事業計画

1. 総 大 会：年1回

内 容：総会・研究会「図書館だよりについて」

月 日：10月2日(木)～3日(金)

会場校：富山女子短期大学 会議室

講演会：「富山売薬商人と文化の伝播」

講師 植村元覚(富山女子短大図書館長)

見学会：富山大学 ヘルン文庫

2. 研 修 会：年1回 11～12月講演会予定

3. 研修委員会：年3回 5,7,10月

研究会：「図書の紛失対策について」

「雑誌目録の作成について」

4. 会報委員会：会報発行年2回

(1)第16号 7月 (2)第17号 12月予定

5. 幹事・役員会：年2回 4月 10月予定

6. 北陸部会助成：独自の研修会活動を援助

昨年同様 15,000円

私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会
昭和61・62年度新役員校

会 長	大垣女子短期大学 (会報・研修担当)				
幹事	地区名	北陸地区	三岐地区	愛知地区	名古屋地区
地区幹事	(昭和61年度) 富山女子短期大学 (昭和62年度) 仁愛女子短期大学	中部女子短期大学	愛知学泉女子短期大学	愛知淑徳短期大学	
担当業務	会報・研修	研 修	会 報	会報・研修	
推せん幹事	北 陸 学 院 短 期 大 学	望 徳 学 園 女 子 短 期 大 学	名 古 屋 短 期 大 学	東 海 学 園 女 子 短 期 大 学	
担当業務	会 報	研 修	会 報	研 修	

<第15回研修会>

日時：昭和61年5月17日 15:00~16:30

場所：帝塚山短期大学図書館

参加者：31館52名

講演 「洋書・洋雑誌の流通および問題点」

講師 渡辺成男氏（丸善KK洋書センター長補佐）

坂本菊男氏（同 大阪支店長）

<幹事会>

第1回：昭和61年5月8日 14:00~17:00

第2回：昭和61年5月17日 13:00~14:00

第3回：昭和61年6月7日 14:30~17:00

<中国・四国地区>

<地区理事館より>

★役員会開催 60/11/20

★昭和60年度総会開催 61/1/28（今治地域地場産業振興センター）

★総会・研究協議会報告 61/3/25

協議事項

- A. 図書館相互協力ネットワークの促進について
- B. 図書館相互協力の具体的方法について
- C. 相互協力への準備的な仕事
- D. 短大図書館の蔵書構成について
- E. 視聴覚資料と図書資料とのバランスについての研究
- F. その他

61年度地区役員

理事	樋口日出雄	梅光女学院大学短期大学部
幹事	吉武 寛人	宇都短期大学
監査	松尾 陽吉	鳥取女子短期大学

<九州地区>

未着

<短大図書館めぐり 第20回>

金沢市の中心部から南東の方向へ10分余り車を走らせると、自然の景観に恵まれた小高い丘の上に私達の北陸学院短期大学がある。学院はキリスト教を建学の精神とし、幼稚園から短大までの一環教育を行っている。短大としては、開設学科が4つ、学生数746名、教職員数69名からなる小規模校といえる。三小牛のキャンパスに、短大校舎を中心として、右側にチャペル、左側に図書館と配置された建物は、学院の建学の精神と存在の意義を象徴するかのようになっている。短大は、この地に移転して20年余りになるが、図書館は、最初の15年間は、教室として準備されたところに仮住まいで、暗くて、狭くて、いくつものに分散されて、使いにくい状態であった。そんな状況の中で、学院創立100周年記念事業の一環として、新図書館の建設が計画され、'80年10月に起工式、'81年10月に竣工式を行った。図書館の施設が新しくなったのと同時に、学院の創立者であるメリー・K・ヘッセル女史の「教育は知識を与えるだけでなく、信仰によって人格をつくるのが根本である」という建学の精神を覚えて、名称もヘッセル記念図書館として生まれかわった。

新図書館は、鉄筋コンクリート2階建て、建築面積は延べ1953m²（以前の約7倍!!）、蔵書収容能力10万冊（内、電動書庫に4万2千冊）、閲覧座席数118席、ブラウジング・コーナー39席、カセット・ブース6台、ビデオ・ブース2台、視聴覚教室124席となっている。

明るく、親しみやすい図書館とするために、また周囲の景観を生かすためにも、窓をできる限り大きくとり、2階部分にはトップライトを設けた。図書館の家具は、全て低く（書架は117cm、その他の家具は120cm）おさえ、可能な限りオープンな空間とし、壁で細かく仕切ることが極力避け、また、ハンディキャップをもった人のために校舎とはスロープでつなぎ、書架と書架の間は車椅子が通れる幅とした。床は保温、防音と維持管理の面からタイルカーペットとし、窓にははたて型のブラインドをとりつけ、図書館の雰囲気作りにかかせない花や観葉植物のために、7カ所にフラワーボックスをおいた。図面によっておわかりいただけると思うが、1階と2階のフローをわけるにあたっては、階段を昇るという抵抗があっても、それを感じさせないものをという原則で、ブラウジングコーナーや視聴覚関係のコーナー（現在は、CDプレーヤー4台、LDデッキ、VHDデッキ各1台増設）、参考図書閲覧室等を設け、1階には、全て館外

北陸院短期大学ヘッセル記念図書館

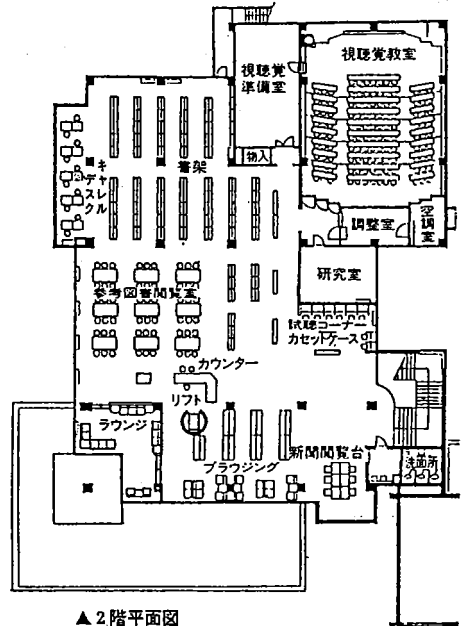
貸出できる資料をおいた。

今、新図書館がオープンしてからの5年近くを振り返ってみると、新図書館を建設するにあたって、“利用者のための図書館”であるという原則のもとに、利用者が一番良く知っている現場の図書館員の声を反映させるために、基本的な設計は勿論のこと、家具の一つ一つのデザインから色にいたるまで、設計者との十分な打ち合わせを重ねたことが幸いして、後悔したことは殆んどない。しかし、図書館の利用は施設に負う面が非常に大きいということを痛感した。新図書館ができるまでは、内容の充実をということで、利用者のためのサービスを心がけ、予約サービスやレファレンスサービスの制度化、貸出方法の変更（記入は一切不要）、貸出冊数制限の廃止、視覚資料の重点的な収集など、様々なサービスを実施し、利用は着実に伸びてきていたが、やはり施設が新しくなった時点で画期的にふえた。

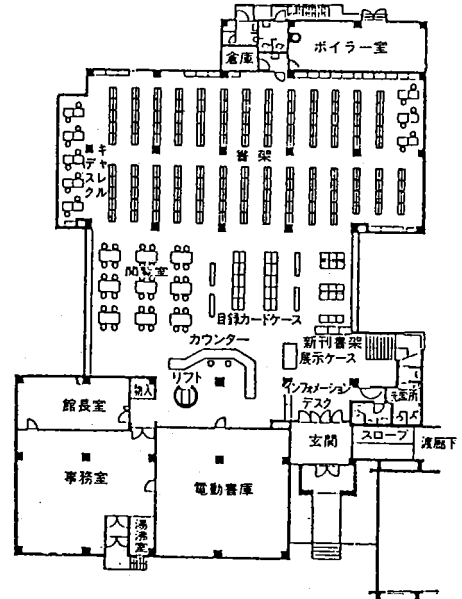
どんなにサービス面を充実させても、充実した施設の魅力ははかり知れない程大きかった。5年を経て、図書館は学習したり、教養を身につける場としては勿論のこと、やすらぎ、憩い、自分を解放し、自由になれる場としても、学生の生活の中にしっかりと入り込んでいるようである。施設の良さに安住することなくここ5年の間にも、卒業研究の登録制度や図書館利用指導の実施、図書館開館時間の延長（8：15～6：00）、広報活動の充実（年刊増加図書目録、新着図書案内—毎月、館報—年3回の発行）、図書館活動の充実（レコード・コンサート、ビデオ、LD、スライドなどの上映会）などの様々なサービスに力を注いできた。

今後も、利用者のための図書館であることを念頭において、恵まれた施設を十分に生かし使いこなし、学生の生活になくしてはならぬ図書館になるために、努力をしていきたい。

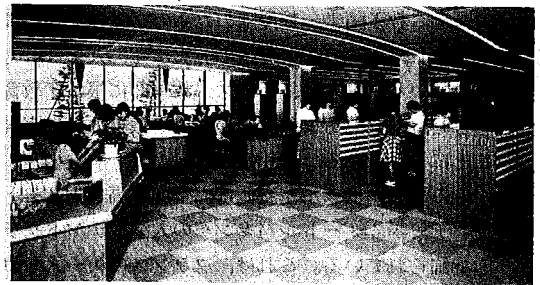
（尾田真知子）



▲2階平面図



▲1階平面図



＜短大図書館めぐり 第21回＞

立教女学院短大図書館

1982年12月、短期大学創立十五周年記念として建てられたのが今の図書館である。997㎡という非常にコンパクトな建物は、図書館全体を書斎の感じにまとめるべく、デザイン、外装、内装ともクラシックを基本としたものである。また、家具類も木製の重厚さをふんだんに取入れたもので、落ち着きのある雰囲気館内にかもし出している。そんな中で、情報メディアの多様化が進む今日に應えるべき短期大学図書館として、図書のみならず、AV資料の収集、提供も心掛けている。

本学には、英語科と幼児教育科の学生が約770人いるが、図書館の5万6000冊の蔵書構成も文学、語学、教育学に比重がおかれている。これに加え、本学の建学の精神であるキリスト教の資料の収集にも力を入れ、今後益々必要とされるであろう相互協力に伝えたいと思っている。また、生涯教育の必要性が叫ばれている今日、広く地域住民の情報センターとして当図書館が利用されるよう特別貸出制度も設けている。

現在の最大の課題は、短期大学図書館の情報のネットワーク化である。それに備えて、昨年よりパソコンによ

る図書館業務の機械化を始めた。軌道にのれば、かなりの省力化になるだろうが、今のところ平常の業務に並行させての作業なので、従来より仕事量は増加している現状である。だが、3年後の1989年には全蔵書の書誌データが入力される予定である。近い将来、短期大学図書館情報ネットワークが完成されるその暁には、一歩進んだ相互協力の実現が可能となり、学内利用者は元より学外利用者にも、当図書館資料が大いに利用されることを願っている。
(馬場 直子)



＜短大図書館めぐり 第22回＞

梅光女学院大学短期大学部附属図書館

本学図書館は、1964年、短期大学部創立により、本館2階に設置された。1972年、校舎増築に伴ない4階に移動し、1985年5月、学院創立百周年記念事業の一つとして、かねてより念願の新図書館が、キャンパスの中央に完成した。鉄筋コンクリート2階建て、延床面積965㎡、冷暖房装置付きである。1階は、二つの閲覧室、事務室、書庫、図書館ホールがあり、2階は、書庫（電動式スタックランナーに、雑誌、バックナンバーが収納されている。）、演習室、会議室、研究室などとなっている。蔵書は、和書・洋書約7万冊、和雑誌159種、洋雑誌41種で、一般図書をはじめ、各専門分野にわたり、学生用の参考図書、教養図書、教授陣のための文献資料がそれぞれ整備され、新しい研究資料の充実にも、大きな努力が払われている。本学は、キリスト教信仰に根ざす教育を理想とし、図書館もまた、その願いを蔵書の上に実現することに努めている。

1階の図書館ホール左窓側は、全面、高さ1メートル78センチ、幅4メートル74センチの大型ステンドグラス二面で飾られている。これは、フランスの第一人者ガブ

リエル・ロアール氏の作品で、ホールをひときわひきたたせている。また、最新の視聴覚機器も備えられ、万全の態勢がとられている。このホールは、すでに、公開セミナー、講演会、読書会、学生たちのクラブ活動の成果発表の場としても利用されている。地域に開かれた大学として奉仕することは、これも本学の願いの一つである。生涯教育の言われる今日、大学附属図書館の役割を自覚し、その使命を果たしていきたいと願っている。

(樋口日出雄)



＜ 事 務 局 報 告 ＞

△ 会 勢 ・ 昭和61年7月1日現在

北 海 道	17	近 畿	59
東 北	13	中 ・ 四 国	23
関 東	82	九 州	29
東海・北陸	36	合 計	259

注：昭和60年度6館増

△ 新加盟館紹介

東海・北陸地区

○ 敦賀女子短期大学図書館

〒914 福井県敦賀市木崎78-2-1

TEL 0770-24-2130

○ 洗足学園魚津短期大学図書館

〒937 富山県魚津市天神野新字西大野148-甲

TEL 0765-31-7001

○ 東海女子短期大学図書館

〒504 岐阜県各務原市那加桐野町2

TEL 0583-82-1148

○ 愛知女子短期大学附属図書館

〒470-01 愛知県愛知郡日進町大字岩崎字竹1山57

TEL 05617-3-4111

近 畿 地 区

○ 浪速短期大学図書館

○ 矢田学舎

〒546 大阪市東住吉区矢田2-14-19

TEL 06-691-7341

○ 伊丹学舎

〒664 伊丹市荒牧字上ノ池2-1

TEL 0727-77-3353

九 州 地 区

○ 沖縄女子短期大学図書館

〒902 沖縄県那覇市長田2-2-21

TEL 0988-33-0717

全国理事会

昭和61年5月29日(木) 全国婦人会館

出席：本部役員、地区理事

内容：会長あいさつからはじめ、まず、報告事項として各地の1年間の活動報告が、九州地区を除いて北海道地区（坂本理事）から中・四国地区（樋口理事）まで行われた。協議事項としては明日開催される昭和61

年度総会に提出案件の審議であった。

1. 昭和60年度会勢及び事業報告

1) 会勢及び事業全般（渡辺理事）

2) 会報17, 18号刊（菅原理事）

3) 短期大学図書館研究第6号刊（網本理事）

4) IFLA東京大会の情况（会長）

2. 昭和60年度決算報告（渡辺理事）

3. 昭和60年度会計監査報告（松本監査）

4. 昭和61年度事業計画及び予算案について

5. その他 片山理事辞任の件及び顧問へ推挙

6. 会報19号原稿依頼について

△ 地区理事変更

東海・北陸地区理事に木村一夫氏

中・四国地区は梅光女学院短大図書館長

○ 東海・北陸地区協議会長

大垣女子短期大学図書館 木村 一夫氏

○ 中・四国地区協議会長

梅光女学院短期大学図書館 樋口日出雄氏

△ 会 議

本部役員会 第5回

▽ 昭和61年2月25日(火) 日本図書館協会

報告事項

1. 短期大学図書館館員名簿昭和60年度版刊行の件

2. 会報第18号の発行

3. その他としてIFLAの件

協議事項

1. 昭和61年度総大会の件（継続）

2. 昭和61年度事業計画の件（継続）

3. 昭和61年度全国研修会の件（継続）

4. 短期大学図書館研究第7号の件（継続）

5. 本部役員会の任務分担の件（継続）

6. その他

本部役員会 第6回

▽ 昭和61年3月25日(火) 日本図書館協会

報告事項

1. 事務局報告

2. 会報第18号発行の件

3. その他<関東地区活動報告, IFLA関係>

協議事項

1. 昭和61年度総・大会運営日程について

2. 昭和61年度全国理事会について
3. 昭和61年度事業計画の件 (特に研修会の件)
4. 本部役員会任務分担の件
5. その他

昭和61年度本部役員会 第1回

▽ 昭和61年4月25日(金) 日本図書館協会

報告事項

1. 事務局報告 (地区理事変更の件)
2. その他 (関東地区活動報告, IFLA大会, JLA短大会の件)

協議事項

1. 昭和61年度総・大会及び全国理事会の件 (継続)
2. 昭和60年度決算案の件
3. 昭和61年度事業計画及び予算案の件 (継続)
4. 本部役員会の運営体制及び任務分担の件 (継続)
5. その他

本部役員会 第2回

▽ 昭和61年5月22日(木) 立教女学院短大図書館

報告事項

協議事項

1. 昭和61年度総大会の運営及び担当任務の件
2. 昭和60年度会勢, 事業報告の件
3. 昭和60年度決算報告の件
4. 昭和61年度事業計画・予算案の件
5. 昭和61年度研修会の件
6. 本部役員会の人事の件
7. その他

本部役員会 第3回

▽ 昭和61年7月7日(月) 日本図書館協会

報告事項

協議事項

1. 昭和61年度短期大学図書館全国研修会の件
2. 本部役員会の任務分担の件 (継続)
3. その他

◇ 片山理事顧問に

全国理事会及び総会で顧問に

▽ 毎年「短期大学図書館研究」に文献目録を採録しておりますが, 1個人の採録では見落しがありますので, 短大図書館に関する記事, 論文等ありましたら, お知らせくださいますよう, お願いいたします。
〈著者: 論文名, 「記載誌」巻, 号, P-P, 年〉

△ 昭和61年度短期大学図書館全国研修会

11月に開催 会場は?

詳細は直接会員校へご案内いたします。

〈昭和61年度図書館関係行事予定〉

昭和61年5月29日 全国婦人会館

私立短期大学図書館協議会

全国理事会

昭和61年5月30日 日本図書館協会

日本図書館協会短大部会総会

昭和61年5月30日 東京出版販売本社

私立短期大学図書館協議会総・大会

総会・研修会「出版情報サービスと図書館の資料組織化-MAR Cを中心に-

昭和61年7月16日-18日私学会館

日本私立短期大学協会図書館研究委員会

昭和61年8月24日~29日

IFLA東京大会

メインテーマ「21世紀への図書館」

会場: 青山学院大学, 国立劇場, 日本青年館

ホテルニューオータニ

参加費: 42,000円

昭和61年8月24日~27日 ホテルニューオータニ

国際図書館情報総合展

入場料 ¥500円

昭和61年8月28日~29日 椋山女学園大学短大

日本図書館協会短大部会

第4回 図書館利用指導ワークショップ

昭和61年9月1日~2日 私学会館

東京都私立短期大学協会

テーマ

昭和61年10月19日~20日 国学院大学

日本図書館学会

昭和62年3月19日~20日 日本青年館

全国図書館大会「IFLA東京大会と日本の図書館の動向」

分科会 3月19日 午前

大学図書館・短大図書館-学術情報の整備と利用-

問題別 3月19日 午後

詳細 図書館雑誌参照

短期大学図書館研究第7号

原稿切9月末日までに

一詳細は会報18号参照ください。